

KOBEを愛して45年／月刊 神戸っ子

2006年10月1日発行 第49巻 第10号
通巻541号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBECCO

10 2006
October
vol.541



特集Ⅰ
錦秋の有馬を
訪ねて

特集Ⅱ
神戸住まいズム kobecco.co.jp

これまでも、これからも。



30年目の
真珠婚

結婚30周年。その日、妻は“パールジェンヌ”になった。

真珠婚のお祝いにパールを贈る。

凜とした美しさが、妻の笑顔をつづんでいた。

 TASAKI

Tokyo Kobe New York Antwerp Hong Kong Beijing Shanghai Taipei ■ 0120-111-446 www.tasaki.co.jp
真珠婚 Jewellery (Akoya Pearl, Diamond) Necklace ¥1,000,000 Earrings ¥200,000

Autumn

100th Anniversary Special Event
Four Seasons

ANNIVERSARY
100th
kamine
SINCE 1906 KOBE

Zoccai • Necklace ¥249,900~ • Ring ¥249,900~



2006.10 リニューアルオープン

クラブ&レストランとして1957年、開業当初から多くのセレブリティに愛されてきた年月。

「北野クラブ」は創業半世紀となる2007年のアニバーサリイヤーを前に
新たにゲストハウス&レストランとして生まれ変わりました。

伝統あるフレンチの名店のシェフが奏でる、優しさにあふれた「ビオフレンチ」と
一流のソムリエが厳選する、自然派ワイン「ビオワイン」。

新進気鋭のクリエイター達と伝統と格式を引き継ぐ精銳のスタッフ達が新しい歴史を生み出す。
ついに「KITANO CLUB」の「第2章」が開幕しました。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



KITANO CLUB (北野クラブ) ☎ 0120-51-2308 <http://www.kitanoclub.co.jp>

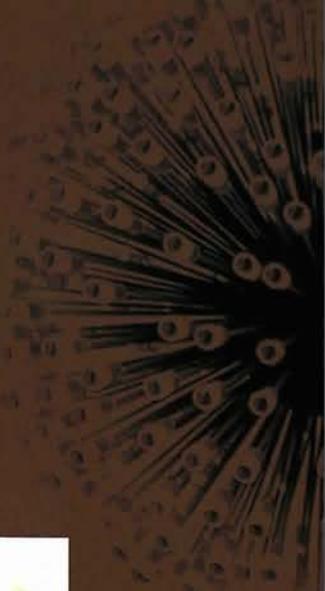
〒650-0002 神戸市中央区北野町1-5-7 Tel.078-222-5123 ■ 交通／新幹線・地下鉄新神戸駅より徒歩 約5分、JR・各線三宮駅より徒歩 約15分

■ 営業時間／Restaurant : 5:30 pm ~ 10:30 pm (ラストオーダー) Bar : 5:30 pm ~ 1:30 am (ラストオーダー)

「第2章」がついに、幕を開けました。



KITANO CLUB
R E S T A U R A N T



Art View

—vo—
17



花
(2006)
村井賢治

作家プロフィール



村井 賢治(むらい けんじ)

滋賀生まれ。幼い頃からものづくりに興味を持つ。電気工事や配管工事の仕事に就き、さまざまな加工技術を会得、現場の端材を利用し創作を試みるよう。2002年から照明づくりをはじめ、2006年より「key men」として本格的に活動を開始。銅を素材に表札など建築パーツからバックルのような小物まで、さまざまなアイテムを制作。2006年8月、波止場町TEN×TENでの神戸初の展覧会も好評だった。

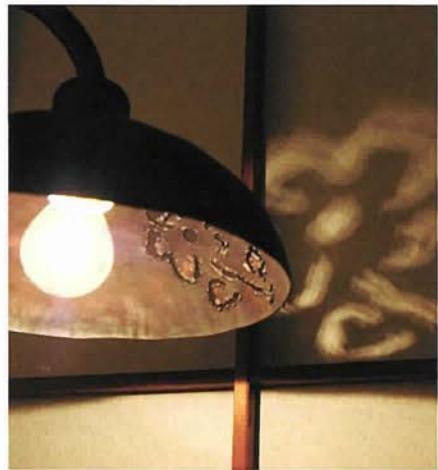
物語を紡ぐような物づくりだ。銅を焼き鈍しでしなやかに形づくる。溶接は部材自体を熔解させず、接着剤のよう銀ろうで接合するろう付けという技法を用いる。接合の手順により融点の違う銀ろうを使用するので、工程は慎重な検討を要

する。配線からソケットの組み込みまで「電気を扱うので、安全が第一なのです」と慎重に制作のプロセスを打ちたてて細やかに手を動かす。

ハイライトの花の模様は、薄い銅板を慎重に溶かして抜く。作業面を被り下書きは見えないから、図柄を何度もなぞって手で覚える。モチーフは野に咲く名もなき花。小さな生命の息吹が大きな光となり、空間をひそやかに幽玄へ誘う。

銅という素材は、人類が最も古くから使ってきた金属。時とともに緑青が染め、美はより深みを増す。古代中国、殷王朝時代の銅器も、幾千年の時を経て今なお美しい。末永く愛用できるよう、安全に配慮しP.S.Eマークも取得。シンプルな造形美にどこか懐かしい風合いは、歳を重ねてなお心地よくなるだろう。

秋の夜長。虫の声と月明かりを友に、やさしいこの灯の下で、さあ、どんな物語を紐解こうか。



一輪の光

8 特集I 錦秋の有馬を訪ねて

- 10 女将が迎える有馬のお宿
 17 日帰り・宿泊 おすすめの宿
 20 有馬歳時記
 24 神戸ことはじめ



26 特集II 神戸住まいズム

- 27 続 建築家・瀬戸本淳氏と
 神戸の住まいを訪ねる。
 34 住まいのFAQ
 36 神戸エリア注目の住まい
 42 芦屋山手を訪ねて
 44 山芦屋の濱邸プロジェクト
 45 DIYをはじめよう
 46 マンションは外断熱の時代へ



- 4 ART VIEW⑫／花:村井賢治
 7 FRONT ART／石阪春生
 48 村松友視KOBEを歩く<前編>
 54 神戸のお嬢さん／岡由実さん 松井彰子さん
 56 <連載>田中まこの神戸が撮っても好き!⑮天使の卵
 58 KOBECCO2006／勝川直樹さん 粟田恵美さん
 60 対談／神戸国際会館開業50周年を語る 濑川博司さん(株式会社神
 戸国際会館代表取締役社長) 玉岡かおるさん(作家)
 64 第10回「花とみどりの回廊」まちづくり懇談会
 68 神戸の「美味しさ」をお弁当につめ込んで
 70 甲陽音楽学院
 72 追悼・新谷秀紀氏
 73 もう味わえないあの味 コスモポリタン閉業
 74 風さやか橋上で歌い踊る

- 76 ヘアーエステティック 尚美苑
 78 智慧の盆踊り
 80 安心できる食生活と心身の健康増進に向けて
 82 ある集い／九年母 神戸二紀女流作家展
 84 でん太の教えてドクター
 87 私の意見／町本欣信
 88 富士アトラス国際交流コーナー
 89 2006年10月の貴方by龍元の占い
 90 びっといん「縁一」「アズーリ」
 92 エレガントナイト
 94 TEN×TENクリエイターズ
 95 トアロードクラフトアートフェア2006
 97 神戸アートウォーク2006
 100 イベントスケジュール
 102 めざせJ1復帰!ヴィッセル神戸
 103 スポーツカレンダー
 104 ポケットジャーナル
 106 コウベスナップ
 108 <連載>神戸ゆかりの源平浮世絵
 「平家終焉・壇ノ浦合戦…幼い安徳帝の入水」 中右瑛
 110 <連載>海船港 「エーゲ海・黒海沿岸クルーズ④」 上川庄二郎
 112 <連載>プロフェッサーPの研究室 岡田淳
 114 <連載>震災エッセイ⑯ 文・大谷成章 剪画・とみさわかよの
 116 <連載>コーヒーカップの耳⑯ 文・出石アカル 絵・菅原涼人 題字・六車明峰
 118 <連載>神戸異人館物語 夜明けのハンター⑥ 文・三条杜夫 絵・谷口和市
 124 法人会員ニュース
 129 百店会だより
 130 神戸っ子グルメ
 146 Kitano Hot News
 149 Present
 150 編集後記
 151 定期購読のご案内
 152 Last Photograph⑩／中山岩太

表紙・写真／フォトスタジオPROX(久保実 久保佳正 来間孝司)

フロントアート

The front art



石版春生「赤い布と〈女のいる風景〉」2005年

錦秋の 有馬を訪ねて

特集 I

六甲北麓の山々に抱かれた
日本三古泉のひとつ有馬温泉
自然がつくりだす優美な光景に心を打たれる

錦秋の有馬

赤、黄、緑、色鮮やかに表情を変える

瑞宝寺公園の紅葉

清冽な流れをたなぶる鼓が滝

太閤秀吉を偲ぶ大茶会

歴史をかけぬけた多くの偉人たちが愛した地

有馬の光景がもうとも華やぐ季節に

錦秋の有馬を訪れてみたい



■ 有馬温泉観光総合案内所

0789040708

当日 11000円

点心席

(献茶式・副席3ヶ所)

茶席 有馬グランドホテル雅中庵

瑞宝寺公園(野点席)

念仏寺

お茶券 前売 10000円

有馬温泉観光協会が主催し、昨年から行なわれている「四季の絵手紙コンクール」の審査結果が発表され、応募作品すべてが有馬工房に展示されている。10月3日まで。コンクールは、春夏秋冬それぞれの部があり、今年の秋の部は11月末日締め切り(審査は来年夏に行なわれる)。有馬の思い出を描き、ぜひ

ひご応募を。

また有馬工房では、隨時、青木進さんの和紙人形展「わらべの園」が行なわれている(工房でのイベント時はお休み)。かつての子どもの情景が、風景や小道具など細かい部分までていねいに和紙で作られており、なつかしい風物詩に、心がなごむ。

日時 11月2日(木)~3日(金祝)

9時30分~15時30分

(受付終了)

有馬温泉をごよく愛した豊臣秀吉公の遺徳を偲んで、昭和25年より毎年開催されている「有馬大茶会」。今年は、表千家のご奉仕で、2日間にわたり行なわれる。

第57回 豊公を偲ぶ 有馬大茶会のご案内



有馬工房で 四季折々の展覧会



趣きのある作品が揃った絵手紙コンクール

青木進さんによる
和紙細工の人形(上、右)

「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

あたたかさが迎えてくれる
太閤ゆかりの宿

兵衛向陽閣

風早笙子さん



さくら色の着物がよく似合う
女将・風早笙子さん。東京から
有馬温泉に嫁いでこられてもう
50年以上、休まずお客様を迎
えてきた。まず女将に会いに来
る常連さんも多い。女将のあた
たかさは、そのままこの旅館の
雰囲気となっている。

太閤秀吉が「兵衛」と名付け
た歴史ある宿である。9月に、
一の湯、二の湯に続き、新浴場
「三の湯」がオープン。庭を眺
めながらゆっくり湯に浸かるこ
とができる大浴場と、金泉の露
天風呂、家族で気兼ねなく楽し
める貸切露天風呂、めずらしい
木曽ひのき酵素浴コーナーなど、
温泉浴が存分に楽しめる浴場だ。

■兵衛向陽閣
神戸市北区有馬町1904
☎078-904-0501
<http://www.horyaku.jp>



②



③

①風情のある貸切露天風呂 ②昔の湯治場を思わせる大浴場は、天井が高く開放感がある ③木曽ひのきを使用した「ひのき酵素浴」は身体の芯まで温まる



新浴場「三の湯」が誕生しました

貸切露天風呂（2部屋）

11:00～22:30（最終受付）

ひのき酵素浴「森の香り」

11:00～22:00（最終受付）

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

有馬有数のスケールながらやすらぎのある空間

有馬 グランドホテル

梶木和子さん



いつもお客様でいっぱいのロビーカラのぞむ、美しい庭園に立つ梶木和子さん。有馬一の規模を誇るホテルの女将は、控えめながら、たおやかな印象。「お客様に喜んでいただけるのが一番、それだけです」と話す。

最上階フロアすべてを使つた壮大なスケールの大浴苑は、有馬の街と山並みを一望する。大浴苑とお料理の日帰りプラン「奏旬譜」をはじめ、宿泊のプランも充実している。11月2・3日の有馬大茶会では、敷地内にある「雅中庵」が副席に。



こぶしの花のシャンデリアが輝くロビー

■有馬グランドホテル
神戸市北区有馬町1304-1
0078-9033-5489
<http://www.arima-gh.jp/>



「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

自然に抱かれた野趣あふれるお宿

月光園 鴻臚館 游月山莊

奥田宣子さん



歐州の古城を思わせる鴻臚館は、奥田眞社長が「国際都市神戸で通用する旅館を」と、建築家・瀬戸本淳氏に申し出たのだとか。一方、游月山莊は、館内を流れる清流とともに、自然に抱かれた落ち着いた宿。「有馬にもこんな風景が残っているところがあるのかと、お客様に驚かれます」とは、女将・奥田宣子さん。明るい笑顔と気配りで、客に気を使わせない。

昨年游月山莊に、健康と美容をテーマにしたブッフェレストラン「月の座」がオープン。「これからは、豪華な会席料理だけでなく、身体に良いお料理と、温かいお風呂をご提供していくたい」という。

■月光園鴻臚館 游月山莊
神戸市北区有馬町318
鴻臚館 游月山莊
☎ 078-904-0366
<http://www.gekkoen.co.jp>

「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

さりげないおもてなし
嬉しい宿

角の坊

山野高子さん



平安時代、有馬に仁西上人が十二の宿坊を建設。その名残をのこす宿坊には、現在でも宿名に「坊」がつけられている。有馬温泉の伝統と格式を今に伝える角の坊。すぐ近くの御所、妬（うわなり）泉源から引いてくる濃厚な金湯は大地の恵みの賜物。館内に生けられた栗、すきは有馬に自生し、有馬の季節感でもてなす点は、女将・山野高子さんのなせる業。「食事は、ゆっくり味わっていたらこうと、全館お部屋で召し上がっていただいています」。さりげないおもてなしが嬉しい宿である。



■角の坊
神戸市北区有馬町878
078-904-0771
<http://www.kadonobou.com>

の
湯



「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

自然浴、食浴、もてなし浴…
「二湯十浴」のもてなしのお宿

銀水荘別館
兆楽

當谷泰子さん

「二湯十浴」のお宿として知られる銀水荘別館兆楽。広い敷地内に有馬には珍しいラドン含有のラジウム泉源が。「二湯はもちろん金泉・銀泉。十浴とは様々なタイプの浴槽を楽しめることを想像しがちであるが。「森林浴、食浴、睡眠浴、自然浴、もてなし浴…いろいろ『浴』をお愉しみください」。温かく包み込むような笑顔でお迎えする當谷泰子さんは、学生時代から女将業を営んできた。今春、敷地内に宿籠り「紫貴」をオープンさせた。和風建築の粋を集約した癒しの空間は、十浴以上の満足度を叶えてくれるだろう。



■銀水荘別館兆楽
神戸市北区有馬町1654-1
078-904-0666
<http://www.choraku.com>

「ごゆるりと、秋のお宿」

～女将が迎える
有馬温泉のお宿

花で結ばれた、
心を通わせるおもてなしを

御幸莊 花結び

片山和子さん
片山直美さん



ふれあう心と心が、花で結ばれますようにー。御幸莊花結びの館名には、片山和子さんのそんな素直な気持ちが表現されている。館内の至る所に飾られた花々や押し絵の数々。ほとんどが和子さんの手によるもので、館全体を華やかに彩る。大広間にある源氏物語の押し絵は、和子さんが20代のときの作品だとか。お部屋の名前にも花の名が。「からたちの間」の花言葉は長寿だから還暦や古希の祝いにと。現在は、次女の直美さんと旅館を切り盛り。「一人で一人前です」と優しい笑みがこぼれる。



■御幸莊花結び
神戸市北区有馬町1740-12
078-904-0166
<http://www.hanamusubi.co.jp/>